



天神七代

第一 國常立尊 タツノミコト

第二 國狹槌尊 サツチノ

第三 豐斟渟尊 トヨクニヌ

第四 泥土者尊 ウヒチニ

第五 沙土者尊 スチニ

第六 大戸道尊 オホドミチ

第七 大戸道尊 オホドミチ

地神五代

第一 天照太神 アマテラスヲカミ

第二 正哉吾勝連日天忍穗耳尊 マサカミカミヤマトリノミコ

第三 天津彦火瓊杵尊 ツヒコホホニミコ

中四

彦火々出見尊

中五

彦波瀲武鸕鷀草葺不合

鈍子之降

一金乃てしほみそ目神とや也

ちんちんひひりくゆさなる

天地開闢二代陽のたて陰なり

中四

泥二煮尊
沙土煮尊

れやうん二神ありとやせとも

まゝと和合なり

中七

伊弉諾尊
伊弉冉尊

け神和合して白人盤昌也とや

陰ありとやと神陰ありとや

さひひ移りてむしひささなり

是天神七代と云ん移んやあり

因陀羅つむしひて地神六代あり

河邊の河祖儀をあらわしとや

但正月つむし一産取むとや

ニ多不し正月ハ胎金れぬ乳とい

うししと也

東春

大圓鏡智

南夏

平等性智

西秋

妙觀察智

北冬

成所作智

中諦

法界體性智

如く乃て観念一四十一

同提年元月元日元是三つ

移渡十二天観念一ひう

伊舍那天 帝釋天

火天 焰魔天

羅刹天 水天

風天 毘沙門天

梵天 地天

日天 月天

右は観念あり

同提又取じし

又大力菩薩観念一長也

一産所十二之事

十二んあんとひう

を明りたる名色六入

六觸受を取らむとむ死

同提三つをいへ世ひう

一蝶方乃事

天竺より國小杜康といふあり

ふるをいへんををるて

とありある所の林れり

ふるをいへんををるて

ふるをいへんををるて

病れ令て酒はをれ

是と云ふ蝶もあまの
 て竹の林はむらぐたり杜康ぬ
 んとて竹の林の中へけり
 けりこれ酒なりもろ酒と
 なるもいふ前へはる事なり
 て本にありる酒とのもなる也
 とと天竺唐國ハ酒ハ本あり
 ともいふ酒と云ふは酒と書
 もありてけりやとてけり
 ひとこのゆゑなり
 一鈍子乃云はけりあはる事も陰
 陽をいひてけり二つのハ

日神月神といふしと光とく
 りん移んも雲はけりけり
 いんいあやまりるけり
 一てし乃云はけりつねに
 あり世のさへあはる事なり
 神もいふも也鴨乃明神のけり
 のおんより年比并もあはる
 一のあはる事なり
 是禁中より事也此書ハ書
 うそよりいふもこの書ハ書
 けりけりけりけりけり
 けりけりけりけりけり

ゆゑの言なり也

兩身下之尾立鯉

一尾と片方の尾をもちつゝ尾立鯉
智の二ツ也

長片身下之鯉

鯉門のりんにさびるしつゝも
九魚ありて理せんとんと心あ
るが所方といふ也りんのれ
りばあつゝさびるなり

鯉之之鯉

一我のれをうまひを無つゝとし
るれをうて八葉のまはは

ゆゑにありて尾と智と
てありあのひれとよりゆ

之之鯉

一我徳人よりまはる事四恩又
常と専らなり

移之鯉

一ぬき二よりありといふも六根の
ありし四とよりして観念と
るれ六根と表とを知らず
卒の四九根と観念は口はる
はるなり

海道之鯉

御最庖丁之鯉

一とゞれ骨とゞては骨と号
二ツをもゞれと号

片身下之尾立鯉

一尾とあつる天を安也天金地
胎より天地一傳の訖也

片身下之魚射乃事

一汝元魚射て中子に伝性なり

中子ハ天の帝ハとくそとて

て神の傳にたれをいそとて

とそいやふなりんあり心養

さう一也

小鯉

一夫三身如事とれハ万事よりなり

外ハ白波乃葉ハ底て傳り

傳て破す一松の葉ハ細て

千年とゆふ鯉乃大おより伝

性あり波尾ハ三刀あり首を

後来之鯉

一三十六乃初年兩身下後年ハ

丁也也仍ハ後来号ハ庖丁

七ヶ月小首尾と板の面ハ七

日乃傳之

尊取嫁取之鯉

一 徳人のひれを思ひて柳
 相也ハハ人ありかゝるの鯉
 つ目然もてや唐國より入
 れ鯉はれ留一三十あるを
 て渡さる也

馬場之鯉

一 七尾の鯉は化して名を成あり
 之を聖人を殺化のあつて鐵
 縄を括く四よへてけも化
 して失て自中ふさく之化
 女を成むるも也終るもあ
 りてるは聖の事ありき

いを殺さんちおれ始てたとい
 せゆも馬場なるる場
 の鯉と作り長久の鯉は留て
 後口傳はけ庖丁日本記也

看庖丁之鯉

一 見星を記念して一切の生酒を
 んふらんらんちろと毒あり
 さうせんやうや切られ也

袴着之鯉

一 三行の常をのりて守記也
 袴着之筒切鯉
 一 鱗を用て庖丁成事ハ

外 鯉の本といふところ
故に鯉者といふ也

二唯鯉

三ツ鯉ハ四條家の秘傳也
其の時二ツ鯉と切り魚うはなる
二唯鯉をさくして大鯉と改め
二唯鯉と入れぬや又目本乃
記あり
右に糸ハ孔子乃曰れそ外
は傳さくといふ所あるべし也

四季之鯉

風亂梅花水上雪

魚鰻馬圍真廣玉藻

已上三十六之鯉
但片身西身之鯉ハ
別紙ニテ

右糸家秘傳也

蘭部新産耐
古田又存産耐
莖部和泉守
羽田津存産耐
高橋村存産耐

寛永十九年

五月廿二日 高橋村存産耐

中村十存産耐

大坂市心齋橋
書林
赤志忠雅堂
通本町四丁目



110X

499

8